

◎ ミスが許されない戦い！



しんと静まりかえった校舎に張り詰めた緊張感が漂う。1月19日(土)、この日は全国の工業高等専門学校(高専)の推薦入試が実施され、推薦基準を満たした受験生が面接試験に挑みました。同日、全国では「大学入試センター試験」も実施されました。次の日の新聞に掲載された問題を見てみると、さすがに大学入試の問題だけに、その問題の多さと難解さに驚くしかありませんでした。ただ、専門の「数学」の問題を詳しく見てみると、「数学Ⅰ」第1問は

$$9a^2 - 6a + 1 = (\boxed{ア}a - \boxed{イ})^2$$

という問題で、これは中学3年生の「因数分解」を学習した生徒なら解ける問題です。その他にも、「6762」を素因数分解する問題や「確率」の問題など、よく考えれば中学生にも解ける問題も出題されていました。その他の問題も高校の教科書が理解できていれば十分に解ける問題ばかりでした。日々の予習・復習と授業にどれだけ愚直なまでに取り組んだかが合否の分かれ目であることを再認識させられました。センター試験が終了した高校3年生は、本日自己採点を行い、その結果を受けて最終的な受験大学を決定することになります。そして2月、各大学の二次試験を受験し、その結果で進路が決定します。

中学生にはまだまだ先の話のようですが、3年間は瞬く間に過ぎていきます。2年後には新しい「大学入試センター試験」も始まります。夢の実現をめざすためには、できるだけ早く高校卒業後の進路希望を決定し、早めの準備にかかる必要があるようです。加えて正確な情報の取得と粘り強い日々の実践が必要なのは言うまでもありません。

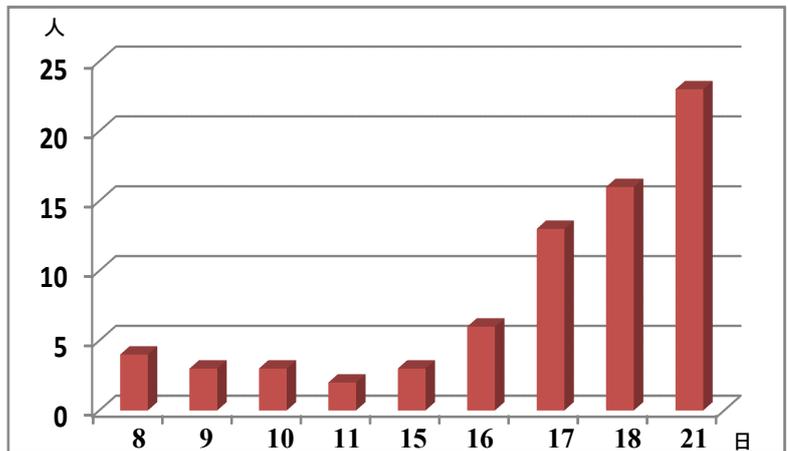
今週から私立高校の一般受験が始まります。3年生には「ミスが許されない戦い」が続きますが、これまで蓄えた実力を十分に発揮し、最後は絶対に合格するんだという強い熱意で「合格」を掴んでほしいと思います。

◎ 「インフルエンザA型」の猛威続く！

右のグラフは、後期後半スタート後の中里中での「インフルエンザ罹患による欠席者数」の推移です。

佐世保市内の小・中学校の罹患者数も先週末で550人を超えてきました。休日に開催された部活動の様々な大会でインフルエンザウイルスが拡散し、本校でも本日23名がインフルエンザA型で欠席しています。そのうち約半数が1年4組に集中しており、その感染力の強さには十分な注意が必要です。

先週から欠席している生徒の中には、明日から登校してくる生徒もいますので、明日の出欠状況を見て、学級閉鎖等の措置が必要かどうかを判断したいと思います。受験では、インフルエンザを発症した生徒は別室(保健室等)での受験になります。高熱での受験は実力を十分に発揮できません。うがい・手洗い・マスク・栄養・休養等、あらゆる手段で予防に努めて下さい。



当選おめでとう！

厳正な「あひだくじ」により、次の5名の方が当選しました。当選おめでとうございます。今年のオキを思い返して199円お返しください。

- | | |
|----|---------|
| A賞 | 江藤 大輔くん |
| B賞 | 金高 真樹くん |
| C賞 | 小古 晴くん |
| D賞 | 小古 珠くん |
| E賞 | 大賀 平航くん |

◇クイズで頭のトレーニング◇

最近、テレビのクイズ番組が増えてきたように思います。それだけ、「考えること」に対して日本人の関心が高い風潮があるのでしょうか。クイズで頭のトレーニングをすることが、学力向上とどんな関連性があるのか興味があり、校長室前の掲示板には定期的に「クイズ問題」を出題しています。先週は「新春お年玉クイズ」を出題しましたが、正解者の中から左の写真の5名が見事当選しました。もし、クイズ問題を考えることで学力アップが図れるのなら、学習内容の見直しもあるのでは……? さあ、掲示板に注目してチャレンジしませんか。